

首都圏増田会だより

39
2024.7

首都圏増田会総会
オーラム
2024年11月17日(日)

春の訪れを待つ雪割草(狙半内)

総会は思い出に触れる場

首都圏増田会 副会長 山中 葉月(中町)



コロナ禍も落ち着き、2023年11月19日には第38回総会が上野オーラムにおいて開催されました。コロナ禍後2回目の開催となり久々に参加された方もいらっしゃったようでした。そんな中亡き父と同級という方に沢山お声をかけていただきました。亡くなってからバタバタと時が過ぎ、気づけば5年の月日が経とうとしていた中お声をかけて頂いたことにより、こんなにも父を慕ってくださっていた人がいることを知り、ありがたさから恥ずかしながら気が動転してしまいまともな対応ができなかったなあと多少後悔しています。この場を借りてお詫びと、そして父を忘れないでいてくださったことに深く感謝申し上げます。

さて38回総会におきましては増田地域局の協力のもと沢山の物販が充実できたと思います。皆さんも楽しめたでしょうか。特に一部役員から(私も含め)絶大な支持があったのがコーヒースンドです。こちら今は製造会社が岩手県となっていますが元は雄平酪農が製造していたそうで増田が発祥と言えます。(私も知りませんでした) 安くてでかくてうまい学生の味方。正に青春の味。東京の秋田物販でもなかなかお目にかかれないのでぜひ皆さんにも味わっていただきたいと思います。

首都圏増田会に参加するようになり数年、若輩ながら副会長を務めさせて頂くこととなりました。微力ながら皆様のお役にたてればと思っております。

ふるさと増田をしのんで

首都圏増田会 副会長 長尾 めぐみ(八木)



この度、副会長に就任致しました長尾めぐみと申します。八木出身です。宜しくお願い致します。

進学を機に上京し、いつしか都会での生活のほうが長くなりましたが、大好きな秋田、大好きな増田を想う気持ちは、年々増しているように感じます。

自然豊かな増田町、四季折々、皆さんはどんな風景を想い浮かべるでしょうか。私が幼少期より変わらず癒され好きな風景は、5月頃の田んぼです。田植え前に水が張られた田んぼの水面には山や空が映し出され、快晴の日の空の色は、まるで海が現れたかのように映し出され、幼心にワクワクする気持ちを、今は癒しを与えてくれます。

ふるさと増田という共通のキーワードを持ち、大切にしたい秋田弁と共に、皆さんと親睦を深めながらお役に立つことができれば幸いです。

40周年に向けた架け橋として

首都圏増田会 会長 岩田 幸子(本町)



前細野会長の後をうけて会長の任を拝しました本町出身の岩田幸子と申します。よろしくお願い申し上げます。

思い返せば今から二十数年前、私が初めて増田会の役員会に出席した時の事を今でもハッキリと覚えていて、品の良いオジ様たちが二十数名ズラリと並んでいて、女性が私ただ一人。もう、緊張と不安で生きたここちがしませんでした。

それが今では若い人達が役員になってくださり、その会の半数以上が女性たちで大いに会を盛りあげてくれています。そのお陰で会の平均年齢もグリーンと若くなり、毎回楽しい明るい役員会が開催されています。少し固かった私たちの頭も少しずつ柔らかくなってきたように感じます。

増田会も今年で39回目の総会を迎えます。ご高齢にもかかわらず、会員のみな様が元気で参加してくださる事が何よりうれしく思い、「来てよかった。楽しかった。いもの汁がおいしかった。来年また来るよ。」と、言ってくれるのが私たち役員にとっては最高にうれしい言葉で何より皆様に感謝です。

そして横手8市町村の皆様も同じ悩みだと思いますが、どうしたら会員増ができるのかという事だと思います。私たちは増田町出身だけにこだわらず、横手・増田が好きな人、ゆかりのある人、つながりがある人も会員になって頂いて全然大丈夫ではないかという事でした。実際、探訪ツアーに参加したり、総会に参加して下さって“増田が第二の故郷”とまで言ってくれている方もいます。

来年、首都圏増田会が発足して40周年になります。大事な一年になると思いますが、増田の地域局の方にも相談しながらこれからも会員のみな様、役員のみな様と一緒に心を合わせて増田会を大いに盛りあげていきたいと思っています。

そして今年の増田の花火、100回目を迎えると聞きました。有志ではありますが、9月14日15日とおまつりに参加したいと思っています。まだ先の話なので参加希望の方は是非、ご一報ください。お待ちしております。

今後共よろしくお願い申し上げます。

ありがとうございました。



盆おどり復活

8月15日（火）、中七日町通りにある増田のまちなみ案内所ほたる駐車場にて増田盆おどり保存会（魚谷幹子会長）主催で4年振りに増田の盆おどりが行われました。日が傾き始めた午後7時から踊りが始まり、「増田盆おどり」「増田小唄」を披露。30度近くの暑さが残る中、老若男女問わず、踊りの輪に参加しました。



内閣総理大臣表彰受賞

西成瀬地区自主防災連合会（季子と春会長）が「令和5年防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞し、9月15日（金）首相官邸で開催された授与式に出席しました。連合会は平成28年に結成し、西成瀬地区9集落が連携して地域の防災意識の高揚を図り、災害対応や避難経路の確認等防災研修を継続して開催してきました。今回の受賞は昨年の「令和4年防災功労者防災担当大臣表彰」に続く大変名誉な受賞となりました。



第15回『蔵の日』増中生活躍

10月1日（日）、中七日町通りを会場に第15回『蔵の日』が開催され、普段非公開の内蔵を含む24棟が公開されました。増田中学校の生徒たちは各家屋の前で来場者へタブレットを使って特徴を説明しました。通りでは公開家屋だけでなく、周辺店舗でもイベントを開催。サイサイ囃子が通りを練り歩き、増田盆おどり保存会が踊りを披露しました。雨が降る時間帯もありましたが、年に1度のイベントは大いに盛り上がりました。



創作体験講座

10月11日（水）、狙半内地区交流センターにて創作体験講座が開催され、高橋淳一センター長が講師となり、オリジナル石鹼と苔玉づくりを行いました。オリジナル石鹼づくりでは、講師の実演のあと参加者がそれぞれ好みの着色をして作成。苔玉づくりはゴットセフィアナとガーデンシクラメンを水苔で包み完成させました。今回で3回目の開催となり、毎回参加している方は手慣れた様子で作業を進めました。



梵天 勇壮な妙技披露

2月17日（土）、増田のまちなみ案内所ほたる駐車場で増田の梵天の妙技が披露されました。今年は「増田・冬まつり2024」の一部として開催。増田小学校梵天部からミニ梵天4本と、集落や有志から梵天4本が参加しました。今冬は小雪暖冬のため会場に雪はありませんでしたが、青空に梵天が映える素晴らしい天気の下で行われました。



増田町の出来事

～ 令和5年度に行われた行事を紹介 ～

高校生が児童へ農業指導

4月19日（水）、増田高校の駐車場を会場に増田小学校児童の種まき体験が行われました。増田高校農業科学科の生徒らが見守るなか、5年生の児童33名が「サキホコレ」の種まきを行いました。この体験は、「ひと粒の種から、ごはんになるまで」をテーマに、高校生と小学生が交流しながらお米を育てる1年間を通じた学習の第1弾として開催されました。この後、田植え体験、稲刈り体験、食事交流会、販売体験などを行い、食と農の大切さを学びました。



花いっぱい推進運動

6月5日（月）、増田地区交流センター主催で地域の景観美化や住民交流を目的に国道342号沿いの花壇に花植えを行う「花いっぱい推進運動」を行いました。例年は地域住民や増田町婦人会（片倉由美子会長）と協力して行っていましたが、高齢化や参加者の減少などから今年は増田小学校の児童約100名にも参加してもらいました。児童の協力を得ながら百日草やビクトリアなど約2,700株を植栽。夏には花の盛りを迎え、往来する人々の目を楽しませました。



里山自然観察会

6月10日（土）、亀田地区交流センター主催で「里山自然観察会」を開催し、親子連れなど10名が参加しました。森林インストラクターの酒井浩氏のガイドのもと女亀森から入山し男亀森までを散策。参加者は山から見える雄大な横手盆地の景色や珍しい動植物にふれあいました。下山時にはさすがに汗をかき、晴れ晴れとした表情でした。



増田地区交流センターまつり

地域の子どもたちに昔の緑日の雰囲気味わってもらいたいと増田地区交流センターまつりが7月2日（日）開催されました。4年振りの開催となったまつりには、開場と同時に子どもたちが続々と来場。輪投げや射的、ヨーヨー釣りなどの縁日コーナーは列ができるほどの盛況でした。紙芝居や化学実験ショーなどの催しものも行われ、地域の方々の協力のもと子どもたちに存分に楽しんでもらいました。また、この日は地震体験車も来場し、多くの来場者が乗車。防災意識高揚に一役買いました。



第38回 首都圏増田会 総会・交流会の様子



令和5年11月19日（日）、「第38回首都圏増田会総会・交流会」が上野オーラムを会場に開催されました。会員、ご来賓合わせて約90名の方々にご出席いただきました。

総会では、事業報告や事業計画及び決算・予算が満場一致で可決されました。また、役員改選が行われ、細野会長と羽生副会長が退任し、岩田副会長が会長に、山中幹事及び長尾幹事が副会長へ就任する案が提出され、満場一致で可決されました（※新役員一覧は6ページに掲載）。また、アトラクションとしてビッグバンドYokete Heros（ヨコテヒーローズ）の皆様による演奏を楽しみました。

交流会では、4年振りに郷土の味の振舞い（料理：いもの子汁・ぼったこのおにぎり・わらび漬け・くるみ寒天）が行われ、増田町観光協会さんのご協力により郷土菓子や漬物などの販売も行われました。どちらも参加者の皆様から大変好評でした。会の最後には参加者全員で「ふるさと」を合唱。会場に楽しげな歌声が響きました。

第39回総会・交流会では、多くの会員の皆様と会場でお会いできることを楽しみにしております。



細野芳之助 前会長



岩田幸子 新会長



総会にて、役員改選が行われました。新役員一覧は次のとおりです。任期は令和6年度から令和7年度となります。よろしくお願いいたします。 役員一同

新役員一覧					
役 職	氏 名	出 身	役 職	氏 名	出 身
会 長	岩 田 幸 子	本 町	幹 事	鈴 木 晴 子	七日町
副 会 長	阿 部 昭 五	本 町		石 川 真 嗣	本 町
	山 中 葉 月	中 町		長 江 佳 祐	中 町
	長 尾 め ぐ み	八 木		高 崎 航	田 町
幹 事 長	越 後 英 雄	本 町	会 計 監 査	佐 藤 貴 之	
幹 事	小 林 豊 子	本 町		佐 藤 守	荻 袋
	伊 藤 ゆ り 子	川 崎 市		沓 澤 幸	縫 殿

お願いー連絡ー

事務局より

予算ならびに事務処理の都合上、増田会だよりの発行について、次のようにさせていただきます。

皆様のご理解の程をお願い申し上げます。

過去5年間、会費が未納の方

総会の案内及び増田会だよりの郵送を中止させていただきました。ただし、総会への参加は1人でも多くの方々の参加を期待しています。

令和5年度首都圏増田会収支報告

令和5年10月1日現在

首都圏増田会の令和5年度の収支決算がまとまりました。その内容は下記のとおりです。

【収入の部】		※「比較」欄は予算との比較	
項目	金額(円)	比較	備考
会費	212,067	▲ 87,933	2,000円/年(手数料差引後)
総会会費	336,000	▲ 304,000	42人
補助金	270,000	0	横手市より
繰越金	757,205	0	
預金利子	4	2	
諸収入	389,000	89,000	総会祝儀(310,000円) 公告収入・物産センター他
収入合計	1,964,276	▲ 302,931	

【支出の部】			
項目	金額(円)	比較	備考
総会費	794,298	▲ 355,702	会場料、宴会費用ほか
会議費	119,461	▲ 80,539	役員会3回
渉外費	112,000	▲ 68,000	在京ふるさと会出席 横手市ふるさと会連絡協議会
慶弔費	42,460	22,460	前会長 佐藤 章 生花代ほか
広告費	30,000	▲ 40,000	増田の花火協賛金
通信費	51,100	▲ 18,900	増田会だより印刷代ほか
事業部活動費	0	▲ 30,000	役員研修会、探訪ツアー助成金 増田会だより(広報部)
手数料	3,190	▲ 3,810	送金手数料ほか
事務費	5,448	▲ 9,552	事務消耗品ほか 役員会案内切手・はがき代
総会準備費	0	▲ 270,000	
予備費	4,000	▲ 251,207	名刺代2名
支出合計	1,161,957	▲ 1,105,250	

収支差引残金 802,319円は翌年度へ繰越

令和5年10月1日 首都圏増田会 会長 細野 芳之助

第39回首都圏増田会総会

■期日 11月17日(日)午前11時30分～

■場所 オーラム(令和5年と同じ場所です)

住所 東京都台東区東上野 1-26-2

電話 03-5812-1123

総会会費 8,000円

募集しています

写真募集 首都圏増田会広報部より

「増田会だより」の表紙に載せる写真を募集しています。増田会にふさわしく、増田に関する郷土の風景、行事、心に残る写真をお持ちの方がおりましたら、ぜひ提供をお願いします。

■提供先:幹事長 越後 英雄

広告協賛募集 首都圏増田会総務部より

総会資料に掲載する広告を募集しています。1口(名刺版)3,000円となります。希望される方は、伝票の通信欄にその旨をご記入いただき、会費と一緒に納入してください。

会費の納入はお早めに

事務局より

当会の事業・運営は、会員の皆様の会費によって賄われていますが、ここ数年会費の納入が遅れたり、未納の会員の方がおります。健全会計維持のためにも、納入はお早めをお願いします。なお、5年間未納の方には次回より案内状・たより等の送付はしないこととします。また、転居された方をご存じの方は、横手市まちづくり推進部増田地域課へお知らせください。

■連絡先:〒019-0792 秋田県横手市増田町
増田字土肥館173番地
電話0182-45-5510(増田地域課)

◆会費 年額2,000円
(※現金ご持参でお振込みの場合、加算料金(110円)がかかります。詳しくは、別紙をご覧ください。)

◆納入期限 令和6年9月30日(月)
※振込伝票の通信欄は、会員紹介、増田会に対するご意見などを自由に記入してください。